

わたしたちの後樂園こうらくえん



今日は、町たんけんで後樂園に出かける日です。もも子は、うれしくてわくわくしています。

後樂園に入ったとたん、みどりのしばふが目にとびこんできました。

「わあ、きれい。お花がいっぱいさいている。」

広いにわは、赤と白のきれいなサツキがまんかいです。いよいよグループごとのたんけんのはじまりです。もも子たちは、まず、「唯心山ゆいしんざん」にのぼりました。岡山城おかやまじょうがきれいに見えます。

「ここからのながめは、さいこうね。」



後樂園（岡山市北区）

つぎに、お茶畑ばたけや竹林、ハスの池をまわりました。にわの手入れをしている人に会ったので、

「いつもこんなにきれいにしているのですか。」

と聞いてみました。すると、

「そうだよ。全国からおきやくさんが来られるからね。だから、心をこめてきれいにしして、みなさんに後樂園のすばらしさを知ってほしいと思っっているんだよ。」

と、話してくださいました。もも子は、この町に後樂園があることがとてもうれしくなりました。

タンチョウの飼育舎の近くにきました。

「コォー。コォー。」

タンチョウの鳴き声が聞こえてきます。きれいなタンチョウがたくさんいます。飼育舎の前で「後樂園ボランティア」と書かれたジャンパーをきた人たちが、後樂園とタンチョウについて、おきやくさんに話をしています。おきやくさんは感心しながら聞いています。

もも子は、近くにいたボランティアの人に、

「後樂園ボランティアって、どんなお仕事をするのですか。」



ハスの池



タンチョウ

と、たずねてみました。その人は、にこにこしながら、話してくださいました。

「わたしたちは、かん光こうくわんに来た人に後樂園こうらくえんや岡山城おかやまじょうのことを分かりやすくお話しているんですよ。」

「へえー。どうして、そんなことをしようと思われたんですか。」

「わたしは、こんなにすてきな後樂園が大スキだから、いっしょうけんめい勉強べんきょうしておきやくさんにお話してきました。いいな、おきやくさんがよろこんでくださったらしいなと思ってはじめたんですよ。だから、わたしの話を聞いてよろこんでくださるおきやくさんを見ると、本当にうれしくなります。ほかに、せいそうボランティアの人がいて、毎回、大ぜいの人たちが後樂園をきれいにしてくれています。家族ぞくづれでさんかする人もいますよ。」

「そうなんだ。」

もも子は同じグループのさくらさんと顔を見合わせてにっこりしました。

家に帰ってから、お母さんに今日の町たんけんの話をしました。後樂園こうらくえんには、今まで知らなかったすてきなおところがいっぱいあったこと、後樂園ボランティアの人たちがいて、後樂園のことをおきやくさんにせつめいしていたこと、もっともっとグループの友だちと後樂園のすてきなおところや、後樂園ボランティアの人の仕事しごとについてしらべてみたくなったことなど、いっきに話しました。

「そういうば近所じよの中村さんも、後樂園ボランティアをしているはずよ。『こんど、タンチヨウの園内さんさくがあるから見においで。』って、さそわれたわ。」

お母さんのことばに、もも子はびっくりしました。家の近くにも後樂園のためにがんばっている人がいるのです。もも子は、中村さんに会って話を聞いてみたくなりました。さくらさんをさそって、こんど、後樂園のイベントに行ってみようと思いました。そして、しらべて分かったことを、たくさんの人につたえたいなと思いました。



1 関連的な道德の学習のテーマ わたしたちの地域を大切に

2 関連的な道德の学習のねらい

道德科を要として、総合的な学習の時間や、地域での活動などに関連を図りながら学習を進めることで、郷土のすばらしさを実感し、郷土を愛するとともに、郷土の伝統や文化を大切にし、地域の人々と積極的に関わりながら活動しようとする態度を養う。

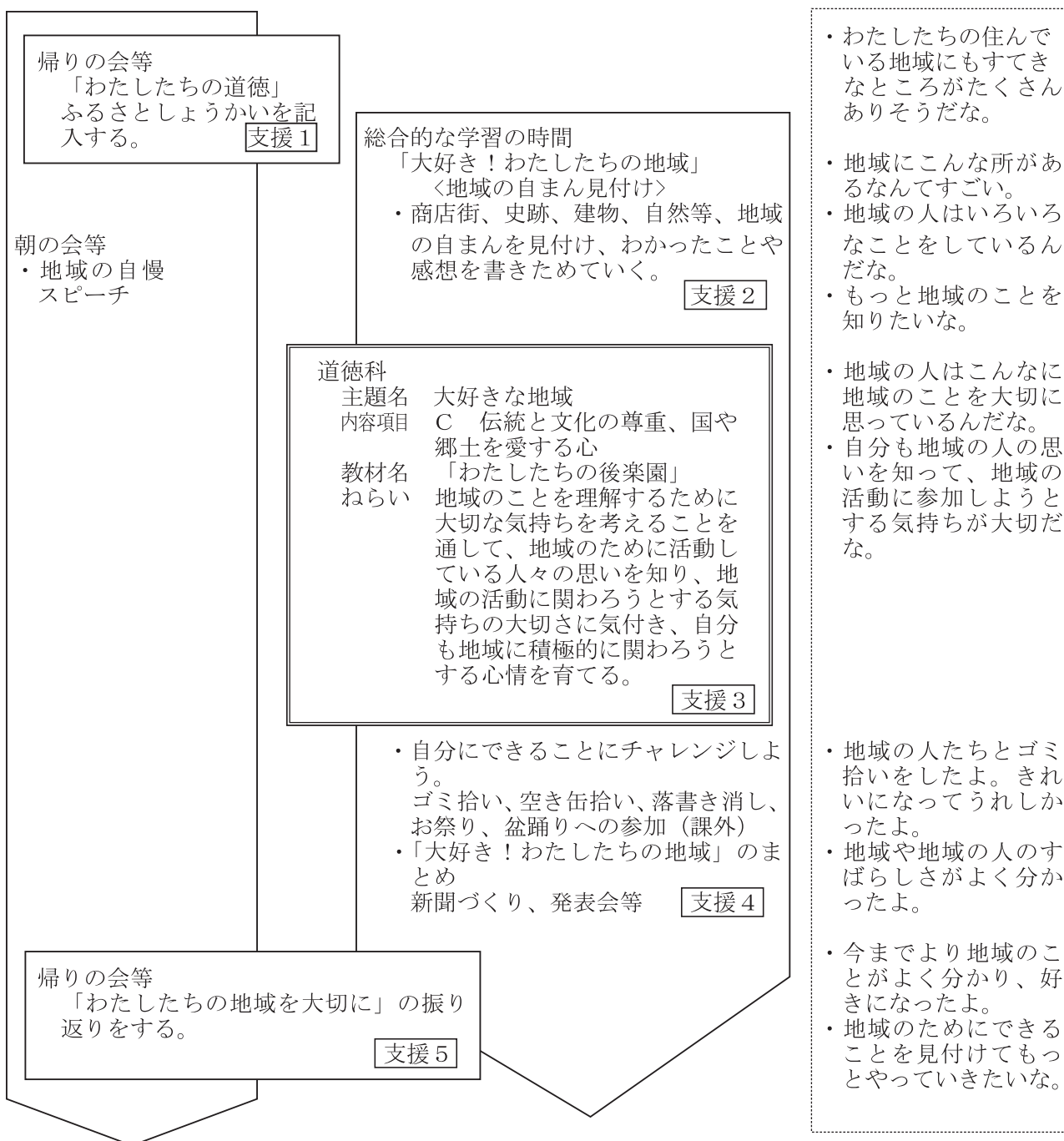
3 構想図（9月下旬～10月中旬）

【日々の暮らし】

【道德科】

【各教科等】

【児童の意識】



4 教師の支援

支援1－道徳的価値に対する構えに高めるために

「わたしたちの道徳」にふるさとしょうかいを記入することで、自分たちの地域のすてきな場所やすてきなことについて話し合い、地域のすばらしさを意欲的に見付けようとする価値追求の構えをもつことができるようにする。

支援2－心を耕し、課題意識を高めるために

総合的な学習の時間「大好き！わたしたちの地域」の活動を中心に、地域について自分の設定した課題を詳しく調べたり、まとめたりしていくことで、自分たちの地域のよさを感じ、地域の人が地域のためにしてくれていることについて関心をもつことができるようにする。自分たちの地域のこともっと知りたいと思う気持ちが高まったところで「もっと地域を知るためにはどんな気持ちが大切なのかな。」という課題意識をもてるようにする。

支援3－それまでに抱いた気持ちを道徳科で語るために

導入では、「大好き！わたしたちの地域」の学習を通して感じたことについて話し合い、「もっと地域のことを知るために大切な気持ちを考えたい。」という課題意識をもてるようにする。

展開前段では、後楽園ボランティアの人の言葉を聞いた主人公の気持ちについて「どうして顔を見合わせてにっこりしたの？」と問い、総合的な学習の時間に調べた、地域の人が地域のことを思っているいろいろなことをしてくれていることや、自分たちの地域をすばらしいと思う自分の気持ち等を主人公の気持ちに重ねながら話し合うことができるようにする。さらに、家に帰ってから母と話している場面の主人公の気持ちを中心発問として取り上げ、「どうしてイベントに行ってみようとか、調べて分かったことをたくさんの人に伝えたいとまで思うようになったの？」と主人公の思いの根拠を問い、ペアで話し合うことで、後楽園ボランティアの人の思いに触れ、後楽園に愛着をもち、自分も後楽園に関わりたいと思い始めた主人公の気持ちに気付くことができるようにし、「自分も地域の活動に関心をもったり参加したりしていくことが大切だな。」という思いを深めていけるようにする。

展開後段では、これまでの体験に基づいて、地域の活動に参加した時の楽しさを振り返るようにする。

さらに、終末に、総合的な学習の時間にお世話になった地域の方のビデオレターを紹介し、地域や地域の伝統に対する思いを語っていただくことで、地域への思いを深めることができるようにする。

支援4－道徳科で捉えたことを確かにするために

総合的な学習の時間や、課外の活動で、地域の行事や、祭りなどの地域での活動に参加しながら、地域のすばらしさや地域で活動することの楽しさを感じ、進んで地域に関わりたいと思う気持ちを高めるようにする。

また、総合的な学習の時間に、自分たちで調べたことや、地域の中で地域の人と共に活動したこと等についてまとめていくことにより、自分たちの地域の伝統について知ったり、地域の人が地域への愛着を感じながら活動していることのよさを感じ取ったりすることができるようにする。さらに、分かったことや感じたことを、新聞にまとめたり、発表会を開いて多くの人に伝えたりすることを通して、地域の活動に進んで参加することのよさを実感できるようにする。

支援5－自分の変容に気付き意欲的になるために

学習の最後に、書きためた資料や新聞、「わたしたちの道徳」、地域での体験活動の記録等を見直し、関連的な道徳の学習全体を振り返って自分の地域への思いがどの様に変わったかについて感想を書き、話し合うことで、今までよりもっと地域のことを好きになり、地域の活動に参加したい、もっと地域のために何かしたいと思っている自分に気付くことができるようにする。

5 要となる道徳科

(1) 主題名 大好きな地域

(2) 主題設定の理由

① 内容項目について

中心となる内容項目は、C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心「我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。」である。地域の人々や生活、伝統、文化に親しみ、それらを大切にすることを通して、郷土を愛することについて考えさせ、地域に積極的に関わろうとする態度を育てることが必要である。

中学年では、地域学習が始まったり、地域の行事や活動に参加したりする機会が多くなる。これらの活動に主体的に関わり、楽しむ中で、地域の人々や生活、伝統と文化に親しみを感じ、郷土を大切にし、愛する心を育てたいと考えた。

② 児童の実態について

関連的な道徳の学習の中で、「わたしたちの道徳」の「ふるさとしょうかい」の記入、総合的な学習の時間「大好き！私たちの地域」の活動を通して、地域にはすばらしいところがたくさんあることや、地域のよさ、地域の活動に参加することの楽しさに気づき始めており、地域についてもっと知りたいと思うようになってきている。しかし、まだ、単なる探検活動に終わり、地域の伝統・文化や地域の活動の楽しさを支えている地域の人々の思いにまで目が向いているとは言えない。

そこで、子どもたちが地域に愛着をもち、地域の中で、地域の人々と関わりながら自分も積極的に活動していこうとする気持ちを育てるようにしたい。

③ 教材について

中心教材は、「わたしたちの後楽園」である。地域学習で後楽園の探検に出かけ、後楽園の楽しさやすばらしさを感じた主人公は、後楽園ボランティアの人と触れ合うことで、後楽園のすばらしさを多くの人に伝えようとしている人の存在に気付く。家に帰って今日のことについて母と話をしながら、自分のすぐそばの後楽園ボランティアをしているおじさんの存在を知り、自分も後楽園のことをもっと調べたり伝えたりしたいと思うようになるという内容である。

この教材を通して、後楽園のよさを伝えようとしている後楽園ボランティアの方に出会い、うれしく思う主人公の気持ちに共感させるとともに、後楽園に愛着をもち始め、後楽園ボランティアの人と関わりながら活動したいと思い始めた主人公の気持ちに十分共感できるようにしたい。

そして、地域の活動に参加した体験を話し合いながら、自分たちが住んでいる地域のすばらしさに目を向け、地域や地域の人と積極的に関わっていこうとする心情を育てたい。

◇ 板書例

○ 地 よいか かつた こと	◇ 地 す地 い き の か つ ど う に さ ん か の 人 の 思 い を 知 り 、 大 切 な こ と が 大 切 な 。	場面絵 ・ 後楽園ボランティアの人が ・ み近にもいるんだな。 ・ イベントに行ってみたい な。 ・ 後楽園について調べてたく ・ さんの人についたえたいな。 ・ 自分にできることをしたい な。	お母さんと話しているとき ・ 後楽園が大すきだから、ボラン ・ ティアをしているんだな。 ・ 後楽園にかかわっている人がこ ・ んなにたくさんいるんだな。 ・ 後楽園がもっと好きになりそう だな。	ボランティアの人の話を聞いて ・ すごいな。きれいだな。	後楽園をたんけんしているとき	唯心山 ハス タウンチ	わたしたちの後楽園 めあて もつと地 い き の こ と を 知 る た め に 大 切 な 気 持 ち を 考 え よ う 。
-------------------------	---	---	--	---------------------------------	----------------	-------------------	---

◇ 参考

「後楽園」(山陽新聞社)。岡山後楽園ホームページ。

(3)ねらい

地域のことを理解するために大切な気持ちを考えることを通して、地域のために活動している人々の思いを知り、地域の活動に関わろうとする気持ちの大切さに気づき、自分も地域に積極的に関わろうとする心情を育てる。

(4)展開

○は基本発問 ◎は中心発問

学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点
1 これまでの活動を通して感じたことを話し合い、めあてをつかむ。	○ 今まで「大好き！わたしたちの地域」の学習をしてどんなことを思いましたか。 ・おもしろいところがたくさんあった。 ・自慢できる場所があったよ。 ・地域の人がいっぱいしてくれていた。	・「大好き！わたしたちの地域」の学習を通してもらった感想を話し合うことで、地域への興味が高まっていることを話題にし、本時のめあてをもちやすくする。
もっと地いきのことを知るために大切な気持ちを考えよう。		
2 「わたしたちの後楽園」を読んで話し合う。	○ 後楽園を知っていますか。 ○ 後楽園を探検しているとき、わたしはどんなことを思ったでしょう。 ・すごいな。きれいなところだな。 ○ ボランティアの人の言葉を聞いて、わたしはどんなことを思ったでしょう。 ・後楽園が自慢なんだな。 ・後楽園が大好きだから、ボランティアをしているんだな。 ・後楽園に関わっている人がこんなにいるんだな。 ・自分も後楽園が好き。うれしいな。 ◎ 家に帰ってお母さんと話をしながら、わたしはどんなことを考えたでしょう。 ・後楽園が大好きで働いている人が身近にもいるんだな。 ・イベントに行ってみたいな。 ・後楽園について調べてたくさんの人につたえたいな。 ・自分にできることをしたいな。	・後楽園の写真を見せ、実態に合わせて後楽園に興味をもてるようにする。 ・写真を見せながら後楽園を探検しているときの思いを問うことで、後楽園のすばらしさを感じている主人公の気持ちに共感できるようにする。 ・「どうして顔を見合わせてにっこりしたの？」と問い、後楽園のすばらしさをお客さんに伝えようとしているボランティアの人の気持ちに触れ、自分たちもうれしくなっている主人公の気持ちに共感しやすくする。 ・「どうしてイベントに行ってみようとか、調べて分かったことをたくさんの人に伝えたいとまで思うようになったの？」と問い、話し合うことで、後楽園ボランティアの人の思いに触れ、後楽園に愛着をもち、自分も後楽園に関わりたいと思い始めた主人公の気持ちに気付けるようにする。
地いきの人の思いを知り、地いきのかつどうにさんかしようとする気持ちが大切だな。		
3 自分たちの地域の活動に参加した経験について話し合う。	○ 自分たちの地域の活動に参加してよかったよということがありますか。 ・お祭りで獅子舞を見てすごかったよ。 ・盆踊りに参加して、いろんな踊りを教えてもらって楽しかったよ。	・地域の活動に参加した体験を話し合うことで、地域の活動に参加することの楽しさを振り返ることができるようにする。
4 地域の方のお話を聞く。	○ この地域の伝統を、おじさんたちは大切に守って広めているんですよ。	・地域の方が地域のよさや地域への思いを語っている姿に触れることで、地域を大切にしようとする気持ちをさらに高めるようにする。
自分も地いきのかつどうにもっとさんかしたいな。		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の思いを知り、地域の活動に参加することの大切さについて気付くことができたか。 ・自分も地域の活動に積極的に参加しようとする意欲を高めることができたか。 	